

## ワクチン・新規モダリティ研究開発事業 中間評価結果報告書

### 1. 中間評価を実施した課題

|         |                                                 |
|---------|-------------------------------------------------|
| 課題名     | ウイルスベクターを用いた異種プライム・ブースト 2 回接種型マ<br>ラリアワクチンの研究開発 |
| 研究開発代表者 | 国立大学法人金沢大学 医薬保健研究域薬学系 吉田 栄人                     |
| 公募枠     | 重点感染症にも応用可能性が見込める新規モダリティの研究開発                   |

### 2. 本課題の概要

本課題は、ワクチニアウイルスベクターとアデノ随伴ウイルスベクターに、マラリア抗原を搭載したマラリアワクチンの開発を目指すものである。

### 3. 評価結果

当初設定された AAV1 を用いた既得免疫下におけるサルモデルによる感染防御および伝播阻止を明確にするというマイルストーンは達成された。研究を進めていく過程で、AAV1 ベクターから肝臓移行性の高い AAV8 ベクターに変更し、肝臓期抗原 RPL6 を追加することによる予防効果が向上し、競争優位性を示すことが可能となると考え、1 年間の研究開発期間延長及び増額を含む計画変更の申請があった。AAV8 のワクチンとしての安全性及び CMC について課題の整理と対応を行うことを前提に承認する。

以上